



銀盤にきたる新風いま氷都に

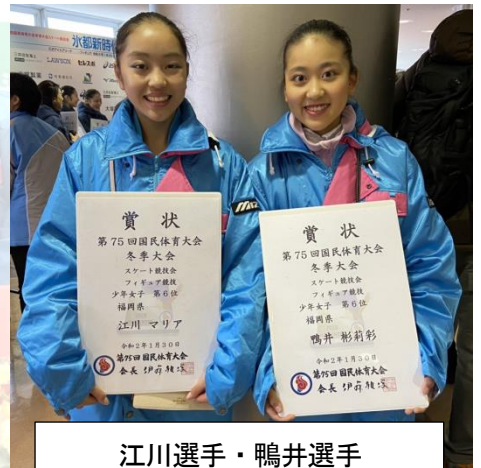
氷都新時代！八戸国体

第75回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース R2.1.30 Vol.2

フィギュアスケート少年女子堂々の6位入賞！

30日（木）に三沢アイスアリーナにてフィギュアスケート少年女子のFS（フリースケーティング）が行われた。Vol.1でもお伝えした江川マリア選手（香椎高校）・鴨井彬莉彩選手（照曜館中学校）が堂々の6位入賞を果たした。江川選手はFSで巻き返しを図りたかったが、最終個人順位は7位。「試合続きで疲れがあった。インターハイよりも緊張した試合だった。」と、普段通りの演技ができなかった悔しさを語った。しかし、インターハイでできなかった演技後半のトリプルループが成功するなど、来年に繋がる成果も得ている。来年の国体では、今年を超える華麗な演技を披露する江川選手に期待したい。鴨井選手の最終個人順位は18位。中学生ながら福岡県代表での出場は、江川選手以上の緊張があった。ただ、このような場数を踏むことでトップアスリートとしての道が開けてくる。これからの成長に期待したい。



江川選手・鴨井選手

フィギュアスケート少年男子の活躍

少年女子と同じく29日（水）から開始された少年男子。松岡隼矢選手（沖学園高校）、古家龍磨選手（九州国際大学付属高校）ペアが出場した。SP（ショートプログラム）では、松岡選手が10位、古家選手が21位とFSでの巻き返しが期待される展開となった。そして、30日（木）のFS。松岡選手が15位、古家選手が24位という個人順位となり、総合11位という結果に終わった。高校1年生の松岡選手は試合後「悔しい」と一言。古家選手は高校3年生であるため、受験勉強との両立で準備がうまくできていなかったことを悔やんだ。今後が期待されるジュニアアスリート。この悔しさを次回の国体で晴らしてもらいたい。



松岡選手・石原先生



岡崎先生・古家選手

アイスホッケー競技成年・少年男子 敗退

29日（水）に好調な滑り出しを見せたアイスホッケー福岡県チーム。30日（木）ふくちアイスアリーナで行われた成年男子の第2戦目。広島県を破った長野県と対戦。第1ピリオド、第2ピリオドともに長野県にリードされ、相手のペースで試合が展開された結果、1-10で敗退。惜しくもベスト8とはならなかった。一昨年、28年ぶりのベスト8進出を果たしただけに、非常に悔しい結果となった。来年こそは、再度ベスト8の壁に挑んでもらいたい。少年男子は、田名部記念アリーナで、ベスト4をかけた第2戦目に挑んだ。相手は強豪「神奈川県」。1回戦では愛媛県に31-0の大差で勝利している。善戦したものの、11-0で敗退。しかし、これで終わったわけではない。少年男子は5~8位を決める順位決定戦が残されている。勢いはある「TEAM FUKUOKA」。是非とも最高順位を目指して戦い抜いてもらいたい。



アイスホッケー成年男子の戦い